

青葉園第一自治会 180世帯  
山木 正俊さん(66歳)

狭い未整備の私道が多  
いのが課題です



## 「会員の融和と親睦を図るのがわたしの役割です」

ここは昭和20年代前半から開けた地域です。世帯数の増加に伴って出戸沼自治会から独立して青葉園自治会を組織し、さらに青葉園第一・第二、鳳凰岱自治会に分かれました。当初は若い人が多く自治会活動も意気盛んでしたが、今は少子高齢化の影響が大きいです。

自治会活動は5つの専門部が主体的に活動しています。役員や組長には委嘱状を渡したり、広報配布依頼書を作成して自覚と協力をお願いしています。自治会広報も月1回のペースで全世帯に配布しています。

町内には教職員や公務員、そのOBも多く、親睦交流会などを催しながら、地域での活動も期待して参加を働きかけています。

青葉園第二自治会と協同で、風の松原沿道の除草や花壇づくりにも力を入れています。



## 柳町ポケットパークトイレが使えるようになりました！

4月15日から、柳町ポケットパークのトイレが使用可能です。どうぞご利用ください。

なお、柳町街区公園（公共駐車場上）のトイレは閉鎖となりますのでご了承ください。

（問合せ）公園緑地係 ☎89-2198

## いつも元気



真新しい制服や新たな仲間との出会いにまだ少し緊張がみ。でも、早く慣れて充実した3年間を過ごしたいな。  
(4/5 能代南中学校)

## のーろ逍遙

## 歴史と民俗のあいだ

2

## 百万遍 (二)

集落の入り口に御幣を立てるといふことは、かなりの地区で見られます。鶴形は集落の入り口に鍾馗をかたどった人形が立てられています。それに御幣を添えています。上部(男)・中部(女)・下部(男)・下坂(女)・横町(男)・駅前(女)の六カ所ですが、木の根っこを巧みに使って鍾馗さまを作っています。男衆が根っこを細工し、女衆が衣装を着せます。その姿は実に多様で、各地区の人々の工夫がほほえましく伝わってきます。

鍾馗は悪魔や邪鬼を祓う神様です。もともとは中国の故事に由来していますが、日本では室町時代に魔よけの鍾馗としてあらわれ、また端午の節句に飾る轆(のぼり)に書かれたりします。江戸時代の中期ころから一般にも普及し、疫病神より強いものとして一般に信じられるようになりました。能代の五町組のうち、上町組の守り神の鍾馗は、強者の象徴としての鍾馗でしょう。

村の境に置かれる鍾馗は、道祖神としての役割を持っていたようです。村や旅人の安全を守る神ですが、石像や藁製のものが多く見られます。男女二体の場合も見られ、夫婦和合・豊作祈願という意味があります。鶴形の六カ所の鍾馗は三体が男、三体が女とされています。境を守るほかに、村の繁栄を祈る意味が込められているようです。



中部の鍾馗さま(女)